

第1 常任委員会からの報告

■「道の駅」基本構想素案について

るしんふれ愛パーク（船場公園）の「道の駅」登録に向けた基本構想素案の報告を受けました。当初の素案からの修正点として、「子育て世代への配慮」「留萌港と連携し、みなとオアシスの登録を目指す」などの報告があり、今後作成される「道の駅」基本計画には「多言語案内サイン」「授乳・おむつ交換スペース」「シャワー室」「キャンプカー用電源器」の設置が追加されます。委員からは「食を提供するのは業者なのか」「食を提供する建物は市が建設するのか」などの質問があり、道の駅基本計画に向けて、議論を進めていきます。

第2 常任委員会からの報告

■学校における働き方改革

教職員の時間外勤務の縮減に取り組み、学校教育の質を高められる環境を構築するため、「学校における働き方改革 留萌市アクション・プラン（案）」が提示され、審議しました。委員からは「1週間当たりの勤務時間が60時間を超える教職員を市内小中学校でゼロにする」ことや「変形労働時間制度の活用」についての意見が出されました。このほか、部活動指導に関わる負担の軽減や教育委員会による学校サポート体制の充実などについて精査しました。また、留萌市アクション・プランは、2月に完成すると報告を受けました。

平成30年度 留萌市議会議員出席状況

平成30年4月1日～12月20日

※次年度は改選期のため直近の出席状況の報告となります

※(公)は公の要件による欠席 ※(病)は入院などによる欠席 ※(監)は監査による欠席 ※(一)は出席対象外の会議 ※委員会は開催状況により出席回数が異なります		議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		議員名	土田悦也	澤井篤司	笠原昌史	米倉靖夫	燕 昌 克	鶴 城 雪 子	川 口 宏 和	小 野 敏 雄	野 呂 照 幸	戸 水 美 保 子	珍 田 亮 子	野 崎 良 夫	坂 本 茂	村 山 ゆ かり	坂 本 守 正	村 上 均
委 員 会 等		開催数	15	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	15	15	15	14	15
定 例 会		15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	15	15	15	14	15
臨 時 会		3	3	3	3	3	3	3	1	3	1	3	2	3	3	3	3	3
特 別 委 員 会	予算審査	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	決算審査	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	—	2
議 会 運 営 委 員 会		17	—	—	—	—	17	15	15	—	9	17	17	17	—	16	15	17
常 任 委 員 会	第 1	9	9	8	—	8	—	8	5	6	9	—	—	—	—	—	—	9
	第 2	14	—	—	11	—	13	—	—	—	—	14	14	13	14	14	12	—
	広 報	6	5	—	6	3	—	5	6	—	—	6	—	—	—	5	6	—
議員定数に関する特別委員会		4	4	4	4	4	4	4	1	4	2	4	3	4	4	4	4	4
議員定数に関する特別委員会(小委員会)		5	—	—	—	—	4	—	—	5	—	5	—	—	4	—	5	—
全 員 協 議 会		4	4	4	3	3	4	4	0	4	2	4	4	4	4	4	3 (監)	4
協 議 等 の 場		開催数	構成委員															
各 派 代 表 者 会 議		7	正副議長（野崎・村上） 議会運営委員会委員長（燕） 会派代表（珍田・小野・戸水・坂本守正）															
四 役 会 議		0	正副議長（野崎・村上） 議会運営委員会正副委員長（燕・川口）															
委 員 長 会 議		1	正副議長（野崎・村上） 各委員会委員長（燕・野呂・村山・鶴城）															
危 機 対 策 会 議		1	全議員															
留 萌 線 対 策 会 議		3	正副議長（野崎・村上） 会派代表（土田・小野・戸水・坂本守正・米倉）															
公 共 施 設 に 関 する 調 査 研 究 会 議		3	正副議長（野崎・村上）（村山・澤井・燕・小野・野呂・坂本茂）															
一 部 事 務 組 合 等		開催数	構成委員															
北海道後期高齢者医療広域連合会議議員		1	村上															
留 萌 市 監 査 委 員		27	坂本守正															
南 部 衛 生 組 合 議 会・協 議 会		4	議長（村山）・笠原・鶴城・戸水															
消 防 組 合 議 会・協 議 会		1	議長（野呂）・澤井・米倉・小野・坂本茂															
消 防 組 合 議 会 監 査 委 員		11	坂本茂															

留萌市議会だより

第131号

平成31年2月1日発行

●留萌市議会事務局

TEL42-1907 FAX43-6700
URL：http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html
E-mail：rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会

検索



※左記の QR コードからも
留萌市議会のホームペー
ジにアクセスできます。

議会です
こんにちは

主な内容

- P 6 ・常任委員会の議事録公開に向けマイクシステムを更新
・一般質問のインターネット中継を開始！
- P 7 ・各常任委員会からの報告
・平成30年度 留萌市議会議員出席状況
- P 8～P 9 ・行政視察を行いました！
- P 10～P 12 ・第4回定例会一般質問項目
- P 13 ・こんなことが決まりました
・各組合議会からの報告 …………… ほか



▲今年4月以降の常任委員会議事録公開に向け更新したマイクシステム

留萌市議会では、各常任委員会の議事録を公開するために、マイクシステムを更新しました。各常任委員会では、それぞれが所管する幅広い分野にわたる事項などを担当課の報告を受けながら、審議や調査などを行っています。これまでは、集音マイクで録音していましたが会議録として外部への公開は行っていませんでした。平成26年に留萌市議会が制定した議会基本条例第7条では「わかりやすく・開かれた」議会の実現のため、さまざまな方法を活用し、積極的な広報・広聴活動に努めると定めています。各常任委員会における審議や議論の音声をはっきりと録音し、議事録を広く外部に公開するためにマイクシステムを更新しました。今年4月以降の議事録公開に向け、準備を進めます。今後、公開される会議録を通じて、留萌市が進めている施策や議会の活動について、市民の皆さんの理解を深めるきっかけや施策の確認に活用したいと思っています。

常任委員会の議事録公開に向けマイクシステムを更新

留萌市議会では、市民に開かれた議会の実現に向けて情報公開を推進しています。12月開催の第4回定例会一般質問から、インターネット中継がスタートしました。議会におけるICTを進めるための重点項目の一つです。本会議（一般質問）開催中であれば、YouTubeのウェブサイトで自動的にライブ中継が配信されます。また、後日視聴する場合は、留萌市議会のホームページから『ライブ中継及び録画配信はこちら』をクリックしてください。始まったばかりのインターネット中継ですが、皆さんから「見たよ」「一般質問聞いたよ」という声がありました。一人でも多くの市民の皆さんに留萌市議会議員の活動の一端を知っていただきたいと思います。

一般質問のインターネット中継を開始！

行政視察を行いました！

議会運営委員会 行政視察

●視察日程 10月1日 ●視察先 ①稚内市

■議会運営委員会では、昨年10月1日、議員5人、随員1人により、稚内市議会の視察を行いました。調査の目的は、議会改革の課題である議会ICTを推進するため、留萌市議会では、今年度3つの重点項目を設定し、調査研究を進めてきました。

その結果、本年度におきましては、「一般質問のインターネットによるライブ中継の実施」「常任委員会の議事録公開に向けたマイクシステムの導入」など、課題解決に向けた事業の実施に結びつき、残された課題である資料の電子化の試行に向け、本年度タブレット導入に至った稚内市議会に行政視察を行いました。

稚内市議会のタブレット導入までの経過については、留萌市議会同様、先進地を視察し、導入に向けた始動を決定してから、約2年間で本格運用したとのことでした。

今回、稚内市議会がタブレットを導入したことにより、見えてくる利点として、①議員が時間および場所を問わず、議案などの各種資料を閲覧できる環境が整う ②議員が日常タブレットを携帯し、市民との対話において、時間をかけずに適切な資料を用いて説明することが可能となり、議員のライフワークの向上が図られる ③議案な

どの資料が全てデータでの使用とすることで、結果的に庁内のペーパーレス化に繋がる効果が出てきているとのことでした。

このことから、留萌市議会がこのペーパーレス化を進めるにあたっての課題を整理すると、①タブレット操作に慣れている議員は問題ないが、一度も操作したことがない議員は導入に関して慎重になると考えられる。そのため、基本操作などの講習会の開催が必要になる ②導入に係る初期経費及び維持管理経費や自己負担額の設定 ③行政側との導入に向けた協議の実施 ④グループウェアの活用やWi-Fiの整備 ⑤機器の購入方法や更新方法などが考えられます。

最後にまとめとして、留萌市議会が、タブレット導入によって議会ICTをさらに推進するためには、議会内の合意形成が不可欠であり、そのためには、議会運営委員会内部に設置した専門部会において、合意形成に向けた判断材料をしっかりと調査研究する必要があります。今後、改選期を経ることになりますが、継続してこの課題について取り組んでいく必要があると感じています。



▲稚内市議会のICTを活用した議会改革について説明と意見交換を行う



▲稚内市議会が導入したタブレットの活用について説明を受ける

市議会では「行政視察」の重要性を認識しながらも、市の財政状況を考慮し予算を要する行政視察は自主的に実施していませんでした。各自治体の実情や現状を把握することの必要性から、市の「新・財政健全化計画」の終了を機に平成28年度から再開しました。

※「行政視察」とは、先進的な取り組みを行っている自治体を訪問、研修を行うことで議員の資質、政策能力および政策提言能力などの向上を図るものです。

第2常任委員会 行政視察

●視察日程 10月17日～19日 ●視察先 ①千葉県柏市 ②神奈川県茅ヶ崎市

■千葉県柏市豊四季台は、高齢化率が極めて高く、建物の老朽化が激しくなった「豊四季台団地」の建て替えを契機に、各団体や東京大学など医療をはじめとした多職種連携により地域包括ケアシステムの構築を進めており、システムの中核となっている「柏地域医療連携センター」を視察しました。

柏地域医療連携センターは、柏市、東京大学高齢社会総合研究機構、UR都市機構の三者で協定を結び、「顔の見える関係会議」というワークショップなどを重ね、意見交換や勉強会を積極的に進めた結果、住民や関係者の連携の機運が高まり、「地域包括ケアシステムの具現化」と「生きがい就労の創成」のふたつの方針を掲げ、「在宅医療」を中心に取り組んでいるという特徴がありました。

課題としては、益々在宅医療が必要な患者が増加する予想に対し、在宅医療に取り組む医師数(現在30人)が、近年伸び悩んでいることや医療・介護職の人材育成が必要であると感じたところであります。

第2常任委員会としては、留萌市の保健福祉と地域医療に対する政策や組織体制のあり方の検証、市と医師会の関係、道内三医大との連携を強化するための取り組みなどについて検討していきたいと感じました。



▲千葉県柏市の「柏地域医療連携センター」で説明を受ける

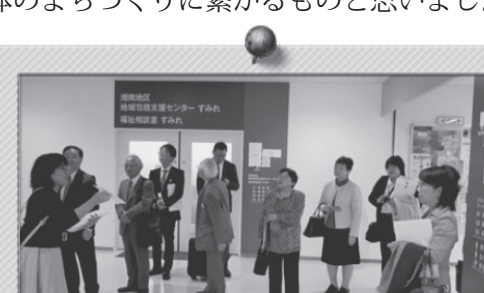
■神奈川県茅ヶ崎市浜見平地区も柏市と同様に高齢化率が高く、集合住宅築後50年が経過し「浜見平団地」の建て替えに伴い、公共施設と民間施設が一体化した複合施設「ハマミーナ」を視察しました。

「ハマミーナ」は、市が実施した公募型プロポーザルの審査項目に「エリアマネジメントの提案」を採用し、特定エリアを単位に、民間が主体となってまちづくりを行っていました。

さらにその運営は、地元NPOと民間業者が協働して設立する非営利組織が担っているとのこと、市と市民をつなぐコーディネートの役割を果たしていました。

課題としては、高齢者の単身世帯の増加や人口減少などに伴い、増加されることが予想される空き家対策などへの対応が挙げられました。

第2常任委員会としては、財政課題に困窮する公共施設の建て替えには、PPP(※)の導入など、いかに民間力を生かした連携を進めるかが鍵となることから、結果を絞り込まず、あらゆる可能性を検討する必要がありますと感じました。また、住民の不安を払拭するためには、理解をしていただくための説明を根気よく続けることが、市民主体のまちづくりに繋がるものと思いました。



▲神奈川県茅ヶ崎市の「複合施設ハマミーナ」の施設の説明を受ける

※PPPとは、公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、「官民連携」とも呼ばれ、民間のノウハウなどを活用し、公共サービスの向上や効率化を目指すものです。

むらかみ ひとし
村上 均
留萌公明党

質問 市役所窓口対応について
市民が市役所の各窓口で申請やその他関連の手続きを行う中での要望や苦情の対応策について伺う。



▲毎日多くの市民が申請や手続きを行う市役所窓口

答弁 直接、担当課に寄せられた要望や苦情などのご意見に対し担当課内部で対応。市民課においては市民相談の担当窓口を設けている。要望や苦情の対応に際し、情報を適切に収集検討し、同じ問題を繰り返すことを防止する中、業務改善に努めていきたい。

質問 防災・減災対策について
内水ハザードマップ策定の進捗状況を伺う。

答弁 内水ハザードマップは平成31年2月をめどに策定、今年度中に市ホームページなどで公表する予定である。

よねくら やすお
米倉 靖夫
無党派

質問 子どもたちへの施策について
神居岩スキー場では、現在、アルペンスキー少年団が活動中である。リフトの停止から12年経つが、練習にはリフトが必要のため、リフトの設置の可能性について伺う。また、小中学校の吹奏楽部の楽器の更新について伺う。



▲リフトのないスキー場で練習に励む子どもたち

答弁 リフトは高額なため、即答しかねるが子どもたちが雪に親しめるよう関係団体と協議したい。楽器は高額なため、校長会などを通じて協議したい。

質問 留萌の漁業の発展のために
東海大学との提携から15年が経過した。今後の漁業の発展のためにも大学生が利用しやすい施設が必要であると考えがいかか。

答弁 東海大学やはこだて未来大学と協議し必要な施設について検討したい。

さかもと しげる
坂本 茂
無党派

質問 子どもが自由に使える遊ぶの建設、神居岩スキー場の再開について
市内には、日曜・祝日に子どもが自由に使える施設がないことから、「子どもと一緒に遊ぶところがほしい」「孫が来ても連れて行くところがない」「神居岩スキー場を再開してほしい」など、たくさんの声が寄せられている。子どもが自由に遊ぶことができる施設をつくること、神居岩スキー場の再開について考えを伺う。



▲閉鎖中の神居岩スキー場

答弁 まち中の空き店舗や公共施設の有効活用で子育て支援を考えており、新設を含め、財政状況を見ながら調査研究したい。神居岩スキー場の再開については、関係団体と情報の共有を図り研究したい。

さかもと もりまさ
坂本 守正
民 主

質問 会計年度任用職員について
人口推計や財政規模に見合った適切な職員数と会計年度任用職員制度の確立に向けた業務の実態に合わせた任用の基本的な考え方を伺いたい。

答弁 定員適正化計画で職員の総体的な必要数と効率的で効果的な職員数を検討し、2020年4月から会計年度任用職員制度導入に向け準備を進める。

質問 留萌市水道事業計画について
市水道ビジョンの前期計画が今年度までであり、中期・後期の改定を迎える今後の取水・導水等優先される施設整備計画について伺いたい。



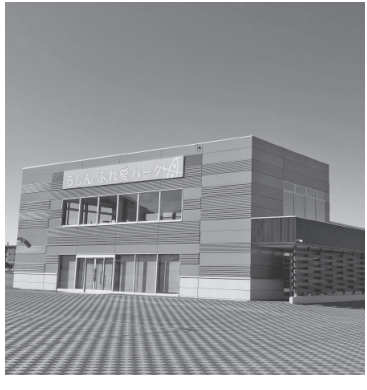
▲市民に安心・安全な飲料水として供給されている信砂川水系

答弁 市水道ビジョンの改定を進めるとともに、アセットマネジメント、経営戦略も整合性を図り策定したい。

つばめ まさかつ
燕 昌克
萌 政 会

質問 道の駅について

来年の11月に道の駅を申請登録するためトレーラーハウスを設置し、オープンしたいとのことだが、地元業者の関わりを伺いたい。また、地元FMのサテライトスタジオの設置を考えているようだが、特定企業の関わりに違和感を感じる。市長の見解をお聞きする。



▲来年11月に道の駅の登録申請予定のるしんふれ愛パーク

答弁 道の駅の新しい施設については、準備期間を考えると、鉄筋コンクリート造は難しいと考えており、今後は民間の参加意向を踏まえ、約2千万円のパネルハウスの設置を検討したい。サテライトスタジオがないと、道の駅の機能が発揮できないと言うことではないが、意見交換によって必要であれば基本計画に盛り込みたい。

のろ てるゆき
野呂 照幸
民 主

質問 収支不足への対策について

人口減少や高齢化が進む中、中期財政計画では今後5年間で7億円超の収支不足が見込まれているが、その対策について市長の考えを伺う。

答弁 すべての事業や施策について検証、見直しを行っている。市税の収納強化により財源確保に努め、収支不足の圧縮に取り組む。

質問 市営住宅のあり方について
入居者のニーズや家族構成の変化に伴い、市営住宅のあり方を考える必要性について市長の考えを伺う。



▲入居者のニーズや家族構成の変化への対応が求められる市営住宅

答弁 市営住宅など長寿化計画の見直しの際、求められる役割を把握、人口減少や少子高齢化の影響を考慮しながら新たな方向性などを見出したい。

かわぐち ひろかず
川口 宏和
萌 芽 ク ラ ブ

質問 乗り合いタクシーの検討について

交通空白地帯の解消、既存バス路線の補完などを目的に乗り合いタクシーやデマンドバス導入の考えはないか。



▲全国各地で運行している乗り合いタクシー

答弁 この地域で持続可能な公共交通網をどう構築できるかを考え、他市の事例の情報を収集したい。交通事業者との情報交換を行う必要はあると考えている。

質問 人を呼び込む対策について
地域を元気にするための新たな人口の考え方として移住まで至らないが地域のファンとして魅力を発信する人を指す関係人口があるが、これに着目して留萌のファンを増やす考えはあるか。

答弁 都市部の住民が参加したいと思う地域づくり活動、交流体験プログラムに取り組むことも必要と考えている。

むらやま りん
村山 ゆかり
萌 芽 ク ラ ブ

質問 旧留萌高校の利活用

旧留萌高校の譲渡について、留萌市教育委員会の結論を伺いたい。旧留萌高校校舎の利活用をすべきと考え、市長の見解をお聞きする。



▲大規模改修が行われる留萌中学校

答弁 留萌中学校の移転を想定したPTAや地域住民、教職員との意見交換、基礎杭の処理、旧留萌高校の取得費や留萌中へ転用するための改修費に多額の経費がかかることなど総合的に判断し、留萌中学校は移転せず、現在の留萌中学校の大規模改修を早急に進めていきたい。改修は、2019年度または2020年度を想定している。

北海道教育委員会から提示された約2億5千万円で、旧留萌高校校舎を取得する考えはない。

こんなことが決まりました

平成30年 第4回定例会
12月4日～13日

平成30年第4回定例会が10日間の会期で開催され、選挙1件、諮問1件、議案15件、意見書案2件などを審議しました。

【選挙】

・留萌消防組合議会議員の選挙について 指名推薦

【諮問】

・人権擁護委員の推薦について 適任

【議案】

・平成30年度留萌市一般会計補正予算（第7号）
・平成30年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
・平成30年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
・平成30年度留萌市病院事業会計補正予算（第2号）
・留萌市議会議員及び留萌市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について
・平成30年度留萌市一般会計補正予算（第8号）
・平成30年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
・平成30年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
・留萌市一般職員給与条例等の一部を改正する条例制定について ほか6件 原案可決

【意見書案】

・Society5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書 原案可決
・認知症施策の推進を求める意見書

編集後記

平成最後の冬。2018年の世相を表す漢字は「災」。地震・台風・豪雨・水害・土砂崩れと全国各地の自然災害に由来しています。留萌市は、中西俊司市長の誕生が重大ニュースとしてあげられます。

今定例会一般質問では、12人の議員に希望を感じる丁寧な答弁が多く、定番の「調査・研究します」から「進めます」「考えます」という前向きな語尾が好印象を与えました。議会は、市政のチェック機能を強化しつつも行政と議会の連動がマチを大きく改革していく鍵だと感じました。

今年は、新元号が決まります。気を引き締めて猪突猛進！（ゆ）

各組合議会からの報告

留萌消防組合議会

平成30年12月21日に行われた留萌消防組合議会第2回定例会では、野呂議長との辞職に伴い、留萌消防組合議会議員選挙を行い、新たに坂本守正議員が議長に当選されました。

坂本守正新留萌消防組合議会議員のもと、「平成29年度留萌消防組合歳入歳出決算の認定について」、「平成30年度留萌消防組合補正予算（第2号）」、「留萌消防組合職員給与条例の一部を改正する条例制定について」の3件について審議を行い、認定および可決しました。

今後も、留萌消防組合議会として、地域の消防防災体制をさらに充実するべく努めていきます。

留萌南部衛生組合議会

12月17日開催の第5回議員協議会において、最終処分施設の埋立容量について、報告がありました。2019（平成31）年度末で、不燃系埋立区画が103.1%の埋立率となることから、2020年の早い時期に屋根の移設を行うことが説明されました。

議員から、屋根の移設は、どの程度の実施期間で、移設期間のごみの埋立はどのようになるのかという質問に対し、「施設の屋根移設は、10日間程度かかり、この間のごみは、可燃系埋立区画に仮設的に置かれることが想定される」との答弁がありました。



▲不燃系埋立区画の覆土後の様子

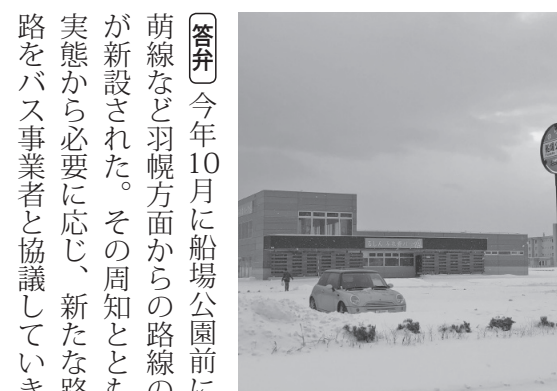
【答弁】環境基本条例・計画・市民憲章の推進で市民へ周知に努めていく。不法投棄の罰則規定を明記した条例は他の自治体事例を参考したい。

【質問】「見晴通」と「億太郎通り」見晴通街路整備事業の見通しと郷土愛を深めるために大町の湊神社前の市道を「億太郎通り」に命名する考えは。

【答弁】2022年度までの7年間で延長約2820mを整備する事業。「億太郎通り」の命名は関わりのある町内会や日常的に使用する市民の合意があれば市として判断したい。



▲相次ぐ悪質な不法投棄



▲船場公園前に新設された豊富留萌線のバス停留所

【答弁】今年10月に船場公園前に豊富留萌線など羽幌方面からの路線の停留所が新設された。その周知とともに利用実態から必要に応じ、新たな路線や経路をバス事業者と協議していきたい。

【質問】市民の気軽な利用のために道の駅經由の市内循環バス運行について道の駅を経由する市内循環バス運行をバス事業者と協議する考えはないか。

【答弁】るしんふれ愛パークの指定避難所としての活用は避難所全体の見直しにあわせ検討。道の駅登録後も避難所機能の追加も含め検討したい。

【答弁】現在、財務省の国有地に対する対応は厳しく、法律による壁がある。有償での貸付の場合、算出された使用料には大幅な開きがある。市としては、利用できるような可能性を何とか探り出し、旭川財務事務所と利用に関わる協議を続けていきたい。

【質問】現在、財務省の国有地に対する対応は厳しく、法律による壁がある。有償での貸付の場合、算出された使用料には大幅な開きがある。

【質問】未利用国有地の堆雪場利用について

市では今年度、地域住民用小規模堆雪場のモデル地区を開設するなど、雪捨て場の確保に努めている。そこで、地域住民からの要望がある場合、未利用の国有地を地域住民用の堆雪場として利用できるような国に働きかけられないか。



▲市内に点在する未利用国有地

【答弁】今後、他の被災者の生活に及ぼす影響など充分考慮し、各避難所の実情を踏まえながら検討をすすめていく。

【質問】災害時、孤立地区への対応について

災害時の「孤立地区・避難困難地区」についての対応について伺う。

【答弁】まずは自主的な避難行動をとっていただくことが重要であり、事前周知を重ねることと、地域コミュニティにおける情報伝達、避難誘導、要援護者の支援、安否活動の確認など組織の活性化と新規設置に積極的に取り組んでいきたい。



▲災害時の避難所用ペットゲージ

【質問】災害時のペットの処遇について

災害時の避難所における「家庭動物」ペットの受け入れについて伺う。



ちんだ りょうこ
珍田 亮子
萌政会



かさほら まさふみ
笠原 昌史
民主



とみず みほこ
戸水美保子
留萌公明党



つちだ えつや
土田 悦也
萌政会